



ネットワーキング  
ミーティング

Net Work Meeting Newspaper  
in Sapporo 2017

Theme ハッケン!

Special thanks 北11条教会/北26条教会/小野幌教会/月寒教会/真駒内教会/湯川教会/元町教会/宮前町教会/渡辺俊  
/安部尚登/宮部登神父/駒井聖子/FMMのシスター方...and all participants Design みきと

作成 / 第33回ネットワークミーティング in 札幌実行委員会  
発行 / カトリック青年連絡協議会



NWMってナニ?



## Net Work Meeting

ネットワークミーティング



カトリックの青年、青年の活動を支えている信徒・修道者・司祭が自由に集い、そこで今抱えている問題や信仰のこと等を分かち合い、交流する場であるとともに、いろいろな地域の青年や活動している青年と出会い、情報交換の場として、年2回、教区持ち回りで開催されています。

### カトリック青年連絡協議会とは？

「カトリック青年連絡協議会」とは、情報交換と交流を通じ教区を超えたカトリック青年の活動を支援し、促進することを目的としています。

このNWMも第1回から支援し、青年たちが繋がりを広げられる場を提供してきました。年に2回開催されている運営委員会では、全国の青年担当者が集い、日本のカトリック教会の為に、私たちができることを話し合っています。青年信徒・修道者・司祭がともに歩みながら、日本のカトリック教会に置ける若い力を1つにし、神の国の実現に近く活動が生まれる助けとなることを目指しています。

日本のカトリックの青年信徒勢員が支援の対象です。私たちが支援できるようなことがあれば、ぜひお知らせ下さい。そして私たちの活動に賛同して下さる方は一緒に話し合しましょう。興味関心のある方は、お気軽に、当協議会に関わる青年・司祭・修道者へお声がけください。

カトリック青年連絡協議会  
HP <http://catholicyouth.jp/>  
Mail [info@catholicyouth.jp](mailto:info@catholicyouth.jp)



Thema  
ハッ！ケン！

# 開会式

1日目 14:00

札幌教区の元気印、かんた&おちよの司会進行で行われた開会式！オープニングでは感謝と歓迎の石狩シャケサンバでした。



## 14:30 自己紹介

NWMで「同じ班なのに一言も話せなかった!!」なんて経験はありませんか？そんなことが無いように、班メンバーひとりひとりと話せる時間を設けました。



真ん中に置かれていた木の十字架はスタッフ巻島祐二郎さんの手作り！わかちあいたくさん話した後は自分を振り返られるように静かなお祈りがいいね！

## 21:40 夕の祈り

21:40

## 交流会

23:00

班のメンバーとずっと一緒にいたから交流会では他の参加者と話そう！



## 朝食

08:00

## わかちあい②

手元に残る思い出を！ということで、分かちあって感じたことをバトンに書いてもらい、書いてもらったバトンは閉会式にランダムに配られました。



## 朝の祈り

2日目 06:30



支笏湖畔で朝の祈り。さわやかな空気の中で、自然を感じながら静かな祈りの時間となりました。

10:00

## ミサ



## トレジャーハント

15:00

北海道の自然を味わってもらおう！ということで、まずは支笏湖周辺を散策！



## 17:00 わかちあい①

札幌教区らしさとは？と考えたときに真っ先に思い浮かんだのが「わかちあい」でした。札幌教区の青年の多くは高校生の時からわかちあいがだいすき。

19:00

## 夕食

北海道だからこそジンギスカン！「ジンギスカンにはビールでしょ！」と無理を言って許可をいただいたジンギスカン&ビール



## インフォメーション



12:00

## 閉会式

みんなで最後に歌った「君の心に」は札幌教区の勝谷司教様のオリジナルソング！札幌教区の青年は神父時代から青年と共に歩んできてくれた勝谷司教様がだいすき！





# COMMENT



## ザンギ (山添垂理沙 長崎教区)

初めてNWMに参加させて頂きました。台風に追いかけられながら、初の北海道でした！上五島からの参戦で、凄く緊張してたのですが、班の皆さんが、優しく迎えて下さり、とても嬉しかったです。青年みなさんの普段の生活、信仰に対する考えを聞いて、とても面白かったです。青年が減っていく中、神様からのお恵みと言うバトンを受け継ぎ、次の世代へと繋いでいく、神様からの私たちへの使命でもあると思います。インフォメーションでは、全国の青年の皆さんの活動を知れて、上五島での青年活動に生かしていきたいと思っています。また、夕食のジンギスカンは、とても美味しかったです！北海道の空気も美味しかったです。楽しい時間をありがとうございました！また、参加したいと思います！



## イクラ井 (吉田綾子 横浜教区)

九月の札幌は想像以上に寒く、しかも台風接近中で天気も悪く、そんな状況で参加したNWMはいろんな意味で衝撃的なものになりました。私にとって初めてのNWMが今回の札幌開催。多分十人くらいに「え、綾子ってNWM初参加なの?!」と聞かれました。なんだろう。(笑)

年に二回開催されるNWMだけれど、いつもタイミングが合わず、今回の札幌は本当に念願のNWMでした。NWMってどんな感じなんだろう、どんな人が来るのかな、久々に再会できる人もいるから楽しみだな、とワクワク感満載で向かいました。スタッフのみんなの衝撃的なダンスから始まった開会式。もうその時点で私はいい意味で圧倒され、なんだこれは、状態。そのあとの外のアクティビティでチームは一気に仲良くなりました。毎回教会の集まりに行くと感じることが、どこに行っても居心地が良いということ。とても不思議。初めて会った人でも、年齢がバラバラでも、家族感が否めない。私だけの一方的な感覚な部分もありそうだから、そこはみんなに甘えさせてくれてありがとうございます。

ハッケンがテーマだった今回のNWM。私の中でのハッケンは、新ハッケンではなく、再ハッケンでした。「教会における若者の存在」についてみんなと話した時のこと。私の所属している教会はほとんど若者がいない状態なので、教会に「若者」として関わる手段がありませんでした。そんな中、WYDの報告をした際に他の信者さんから、「シェアしてくれてありがとう、いい経験をしたね、嬉しいよ」と声をかけてもらいました。WYDから自分の教会に帰って、自分の体験を伝えて何か変えなきゃ、と思っていたけれど、頑張っ

はなく、若者が楽しんでいるような経験をしていることを見せることで、教会の人に喜んでもらえるんだ、と感じたのです。このことをいくら井のみんなと分かち合っ、一見何もしてないように見えるこの“働き”が大事なのかも、と再ハッケンしました。それでも、それぞれの教会でそれぞれ頑張っていることを聞いたら、それができるみんなが羨ましかったりもしたけどね。

一泊二日だけだったけど、台風来てたけど、飛行機ちゃんと乗れたから延泊できなかったけど、素敵な出会いがたくさんあり、愛がまた増えました。スタッフの皆さん、ありがとうございました、皆さんどこかでまたきっと会いましょう。

## 毛ガニ (古山一輝 新潟教区)



NWMに参加するのは今回が初めてでしたが、北海道を訪れるのも初めてでした。北海道の大地は雄大で豊かな自然に囲まれた土地であることは知っていましたが、実際に自分の目で見て体験することでその良さが改めてわかりました。支笏湖もそんな豊かな自然に囲まれたロケーションの1つであり、今回この様な場所でNWMに参加出来たことを嬉しく思います。

NWMについては参加するまでは内容を想像出来ませんでしたが、実際はとてもシンプルな集いだと感じました。皆でお祈りや分かち合いをしたりインフォメーションタイムや一緒にご飯を食べたりと難しい事は何もなく、初めて知り合う全国から集まった多くの同世代と語り合うのはとても新鮮で素晴らしい体験でした。

シンプルな内容とは言っても、分かち合いのためにたっぷり時間が取られていて同じグループの方々とじっくりとお互いの考えや信仰を共有することができ、とても充実した時間を過ごせたと思います。インフォメーションタイムでは全国の教区ごとの活動状況や紹介がユーモアを交えて行われていたのでとても面白くまた良いアイデアだと思いました。我々新潟教区も青年達が少ない状況ですが頑張らないといけないなと思いました。

今回NWMに参加したことで、とても充実した時間を過ごせたことに本当に感謝しています。そして全国にはこんなにも沢山の同じ信仰を持つ仲間がいるのだということを知り、また何人かの友人も出来たことでも嬉しかったです。

## キタキツネ (藤田優美恵 札幌教区)

キタキツネ班スタッフとして参加しました。ふじたゆみえです( ^\_^ )参加者の皆様、北海道、本州様々な地から来ていただきまして、ほんとうにありがとうございます。まず、わたしは今回のNWMは2回目の参加です。1度目は前回の東京。そこで様々な出会いがあって、分かち合いをして、まだ青年になりたての私ですが次のNWMはスタッフで参加するんだ!と名乗りを上げて、準備期間を経て支笏湖で無事開催できたこと、とても感謝しています。札幌では7年ぶりの開催ということで、私の7年前は何をしていたかなあと振り返ってみます。7年前といえば11歳です。当時は毎日沢山の「あたらしいこと!」がありました。1日を積み重ねた1年がとても長く感じる、まだかなあ早く大人になりたいなあと思いつつ裏山で遊んだり森で遊んだり体育館で遊んだり(遊んだりしかしてないですね)子供ながらに悩み、身体、心の成長を感じる時期でした。そして7年後の今日、私は18歳になりました。まだまだ若者と呼ばれる歳ですが親元を離れ暮らしています。では7年前から変わったこと。昔早く過ぎないかと待っていた1秒、1分があつという間に感じて今日が終わって明日が来る、が毎日続く。小さい変化は毎日訪れていますが、ああ成長してる!と喜ぶ日は青年になった今感じにくくなったという焦り。目に見えて変わらない自分が怖い、そんな気持ちがNWM前どっと押し寄せて来まして本当にこんな調子で迎えていいのかと不安がありました。テーマはハッケン、今まで私達スタッフが練ってきた課題です。私は何を見つけれられるのかと、チームの中でも、自分の中でも考えていました。

さて、先に私がどうなったのかを言っておきます。NWMを通して確実に分かったことがあって、日々人はあたらしい発見をしていて、それをしっかりと心の中に留めていく、発見の大きさは違えど、そうした積み重ねが結果大きく成長していく糧となるのだということ、をみつけたのです!

わたしの不安はどこへ行ってしまったのか、今大きく変わるためにしっかりと毎日を過ごしています。新しい出会いや繋がりも、ハッケン! 気付きを与えてくれた今回NWMも、ハッケン! 感じにくくなったのではなく、意識すれば沢山のハッケンが待っている。この気持ちを忘れずにいれば、きっとどこへ行っても、派遣されても( ^ω^ ) つよい自分で居られるのだと思いました。改めて、開催にあたりお世話になりました方々、スタッフの皆様、参加者の皆様、ありがとうございました。みんなだいすき! 次のネットワークも行くよ~! = r( ^o^ )

## ひっじ (長谷川奈緒 大阪教区)

久しぶりの仲間との再会と新たな仲間との出会いに胸を膨らませるとともに、そう思える場所がある素晴らしさを感じながら、私は会場へ到着しました。今思えば、私にとってそれが最初の「ハッケン!」でした。今回は、分かち合いをメインにプログラムが組まれていました。他の企画も、班内のコミュニケーションを深めるものが多かったため、全体を通して、とても充実した時間が過ごすことができました。その中でも特に印象に残っていることは、分かち合いの時間で、みんながテーマに沿った発言を自然としていたことです。過去と現在の自

分を見つめ直した時の「ハッケン!」。人の意見を聞いた時の「ハッケン!」。いろんな意見を聞き、未来を考えた時の「ハッケン!」。そんな「ハッケン!」の共有が、班のコミュニケーションをより深めていきました。昨日今日会ったばかりなのに、ずっと前から知っていたような感覚。班の一人が言った『教会で出会う仲間は、名前や年齢も知らなくても、人に言えないような話が出る』という言葉に私はすごく共感しました。その魅力的な感覚に惹かれて、私は毎回のNWMという場所に足を運んでいるんだ。私は新たなNWMの魅力を「ハッケン!」してしまいました。そして、これを誰かに伝えよう! と思ったとき、しおりの表紙の『バトン』が見えたんです。してやられたと思いました。そこまで見越してのプログラムだったなんて。札幌のスタッフの思惑にまんまとハマってしまいました。なんだかそれが嬉しかった。今回のNWMで得たお恵みはかけがえのないものになりました。札幌で出会ったみんなに感謝したいです。

## クリオネ (篠原聡一 福岡教区)

無理を言って迷惑をかけた前泊から始まって、明るい雰囲気、しゃげダンス、深くそれぞれが今思っていることに向き合えた分かち合い、皆んなでワイワイしながら動けたトレジャーハンティング、美味しかったジンギスカン、晩の祈り~会場が急遽変更になった交流会、ゆったりとした時間を過ごせた朝の祈り、繋いで繋がれたらバトン、全ての集大成のミサ、終わってからの協議会に交流会に、またまた迷惑かけた延々泊、すべてが今思いついても幸せな気持ちになれる宝物です。延々泊の時に悠馬くんがわざわざ来てくれた時にお疲れ様とお礼を言った時に思わず涙するレベルでとても素晴らしかったと思います。10回に満たないくらいのNWM参加回数ですが、一番最高で素晴らしかったです。話変わって悪かったところなんです、約2ヶ月考えて、やっと出てきたのが、朗読の時の神に感謝の件についてでしたが、普通に参加してる分にはげつたに気がつかなかったところだと思ふのでこれも悪かった点ではないな~と思い、何一つ思いつきません。協議会に参加したことある人はわかると思うのですが、協議会の最初に今回のNWMについて感想などを言うところがあるのですが、そこで何一つ悪かったところが出てきませんでした。10回くらい協議会参加してますが、一つも出てこなかったのは初めてでした。20回以上参加してる人もいる中でそのような素晴らしい評価を得られたNWMのスタッフの皆さんは胸を張って下さい。もっとこうすればよかった、とか色々思っている人もいるかもしれませんが、多くの最高の感動をもたらした参加者の一人として改めて言わせてもらいます。お疲れ様でした、そしてありがとうございました。スタッフのみんなのおかげで、福岡でもやっぱりNWMをやりたいと思いました。福岡で開催が実現した時には是非みなさん参加してください。前泊延々泊の対応も頑張りますので笑長くまとまりのない文章になりましたが、ここで締めたいと思います。

動物や植物の名前は班の名前だよ!

## まりも (和田哲廣 東京教区)

神様からのお恵みはいろんな形で実感できる気がします。それは、祈る時間だったり、おいしいご飯を食べた時だったり、誰かと楽しい時間を分かち合えた時だったり。NWM in 札幌はそんな神様からのお恵みをたくさんハッケンできた二日間でした。

自分にとってNWM最初のハッケンはプログラムで支笏湖の湖畔を目の前にした時に訪れました。広い! 景色が広い! そしてきれい! 北海道、大自然とは聞いていたけれど、こんなに気持ちの良い場所なんだ! それが最初のハッケン。

居心地いいなあと肌寒い中でもホクホクした気持ちで過ごしていたのだけれど、それは大自然だけじゃなくて、マリモ班のみんなのおかげだったのかもしれない。一緒に歩いたり、変な写真撮ったり、ジンギスカンにがついたり、思いを分かち合ったり。一緒に時間を共有する中で安心感が生まれて、ほとんど初対面だったのに不思議だなあという気分になりました。みんなありがと!

神様からのお恵みはずっと前からそばにあるのに、いつの間にか忙しい日々の中で頭からも心からも離れてしまっている時があつて。でも、この二日間でたくさんのプレゼントを、そして神様からの素敵なバトンを受け取りました。受け取ったってことは誰かに渡さないとなね。どこかで誰かにこの喜びを手渡ししたいです。NWM in 札幌で出会ってくれたみなさん、ありがとう。そしてスタッフのみなさん、すぐきな時間をありがとう。そしてシャケサンバ、最高。シャケ!

## とうきび (田中寛大 札幌教区)

お疲れさまです。NWMの疲れはとれましたでしょうか? バトン重すぎて疲れてます! なんて事ありませんように。

台風というイベントもすぐ近くで行われていて、ごっそり人数持っていけるかなと、スタッフ一同はとても心配でしたが、なんとか大幅な人数減なく、開催できたことがよかったです。そして、皆さまお住まいへ無事帰ることができたとき、スタッフようやくホッとしたところであります。

北海道開催ということで、私は期待しておりました。出身は北海道稚内教会ですが二年間栃木に住んでおり、4月から札幌に越してきたばかりで、二年間道外から見ると北海道がとても魅力的な場所だなと感じていたので。「北海道を、大自然を感じていただきたい。」という目的に支笏湖はfitした開催地だったと思います。心残りか秋晴れド快晴の支笏湖畔をお見せしたかったです。皆さま今一度北海道へ。新千歳空港で体感された寒さも、合わせて北海道の魅力でございませす。

私はスタッフの一人としてとうきび班に所属しました。班の面々は、「強いね」とスタッフの間でも話題でした。他の班を知りませんが、とうきび班での分かち合い、私自身はとてもよい時間を過ごすことができました。あと、うちわのとうきびのイラストのリアルさがうちの自慢のひとつです。参加いただきまして、本当に本当に、ありがとうございました。次回、北陸の魅力に乾杯!!

## モモンガ (杉山玄己 札幌教区)

NWMのスタッフをやってみないか、と代表の大島さんに誘われたのは今年の春でした。それまでNWMというものについて全く知らなかった僕は、初めての参加でスタッフが出来るのか不安でした。札幌教区は分かち合いが盛んな文化であり、今回のNWMでもそれを中心にプログラムを組むということで、全国から集まってくれた参加者の皆さんとじっくり分かち合いをするという方向が会議で決まりました。僕はこれまであまりしっかり分かち合いをするという経験がなかったため、具体的に何をしたらいいのか、プログラムの開始直前まで悩んでいました。それでも、本番は同じ班のスタッフのネソ氏をはじめ、班のメンバーのみんなのおかげで、プログラムを無事に進行することができました。

僕がとても感じたのは、分かち合いはスタッフが作るものではなく、皆で話しているうちに自然と形になるものであるということです。少なくとも僕の班ではそうでした。普段の生活だと会うことすらなかった人たちと、様々な話をして思いを分かち合うといった機会は普段の生活では中々無いもので、新鮮に感じたのと同時に、信仰というものの持つ力垣間見たような気もしました。次回のNWMにも、今度は参加者として行けたらいいなあ。

## ラベンダー (三木さおり 新潟教区)

「NWMに参加したら全国の若者と会えるよ!」に参加した方からの様々な感想を聞いていて、以前から行きたいと願っていました。8月末、新潟教区の青年で長崎・上島を巡礼していた際、たまたま現地で出会った青年から「私も行ったことがないから、一緒に参加しよう!」とお誘い頂き、遂に今回のNWMに参加することが出来ました。

新潟から札幌まではワクワクとほんの少しの不安を抱えながらフェリーに揺られました。会場に到着した途端、今まで見たことのない人数の若者がいて、涙が出るほど嬉しかったです。それは、自分は1人ぼっちではない、こんなにも仲間がいるのだと心の底から安心したからです。同時に、今まで狭い視野・世界に囚われていたこと、「周りに若者がいない」と勝手に嘆いていたことを反省しました。新潟にいて、他の教区の若者の方々と話すことは今まで中々ありませんでしたが、参加者・グループ内での交流や分かち合いは、自分にとって新鮮でハッケンの連続でした。支笏湖を眺めながら交流したり、分かち合いでみんなが何を思っている、自分はどう思っているのか、素晴らしいプログラムの中でじっくり過ごせた時間が何よりも幸せでした。

普段会えない方々との出会い、日常では経験できないひと時を同世代の仲間と過ごしたことは、こんなにも自分にとって大きな生きる活力になるのだと、日々実感しています。また、新潟教区内で若者の交流が薄くなっていたため、集う場を作ることや、様々なところに居場所があることを伝えていくことで、次の世代にも繋げていきたいと考えています。今回得た素晴らしい経験は自分だけのものにせず、何かしらの形で周りに伝えていきたいです。



代表  
**大島明**

Akira Ohshima



**“次の世代に繋ぐことが最大の目標”**

NWM in 札幌に参加して頂いた皆さまありがとうございました！正直、分かち合いばかりで疲れたでしょう。でもこれが札幌教区の特徴なのです。グループで一部屋にこもり、とことんテーマに沿って自分の考えを発言していき、他人の考えを取り込んでいく。時に脱線することがあっても、そこでそれぞれの人間味が見えてくるのかなと思います。1泊2日では少々物足りないですが、せっかくの札幌開催のため、この手段を用いて教区の色を表現しました。

そしてもう一つ、次世代に繋ぐということが最大の目標であったと、結果的に思いました。人は誰もが年を取り、月日が流れます。次世代に繋ぐ場、変わらないものは数あれど、変化した先には未知な出来事を経験し、人間的に成長し暮らしていくものだと思います。その中で次世代に繋ぐ場、システムというものは不変でなければならない。次に伝えていく、ということを皆さんには持っていて欲しい、というのがこのNWMを通して感じた私の思いです。

**編集後記**

NWM 札幌が終わり早数ヶ月。皆さんはどのようにお過ごしでしょうか？私達 STAFF は今回の NWM で、各々が何かしらの「ハッケン！」してもらいたい、という気持ちでここまで来ることができました。NWM は勿論、日常生活でも新たな「ハッケン！」が出来るようなきっかけになれば、そしてそのバトンを繋げていけるように…という願いを込めて。(スタッフ一同)

**スタッフ**

大島明/武川こむぎ/武川ゆずみ/豊田穂乃実/豊田風斗/豊田そよか/平田舞/平田悠馬/巻島愛/巻島祐二郎/池田ゆりの  
山田康平/田中寛大/曾根優希/杉山玄己/山崎剛/安藤理花/藤田優美恵/秋元惇/駒井僚久/西川量

協力司祭  
勝谷太治司教/佐藤謙一神父/フィリップ神父/佐久間力助祭